

「学力向上ポートフォリオ(中学校版)」

学力向上目標

☆学習指導の工夫改善と学力の向上

- ・タブレットを活用した授業の工夫改善
- ・多様性を理解し、個に応じた学習指導方法の工夫
- ・家庭学習の定着

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得

- ・当該学年で習得すべき漢字の読み書きと式の計算ができる。自校テストで70%以上を目標とする。

○思考力、判断力、表現力等の育成

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(数学)「思考・判断・表現」に関する調査において、平成31年度より自校の平均正答率を2pt向上させる。

○主体的に学習に取り組む態度の涵養

- ・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語・数学の勉強は好きですか」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より2pt以上向上させた値にする。

具体的な手立て

- ①全学年において定期テストで学力アップ問題を設定する。(事前に課題を出しその中から出題)
- ②2学年においては数学をプラス15時間、3学年においては国語をプラス15時間とし、基礎学力の向上を図る。
- ③タブレット端末の活用では、教職員が共に学び合うための研修体制として、「タブレット実践報告書」を校務用パソコン内に設け、全教職員がいつでも研修できるようにし、授業力向上につなげる。
- ④「指扇中の教育」(シラバス)を作成し、全家庭に配布するとともに、保護者会や二者面談、三者面談で、家庭学習の定着を呼びかける。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて